

■市民ふれあい座談会での意見要望一覧（令和8年7月8日、御所浦地区）

No.	ご意見など	回答
1	ナショナルサイクルルートに関し、西海岸は良いと思う。また、東海岸側の整備を早め天草を一周できるようにすることで、世界中の人が自転車で天草を訪れると思う。ただ、その場合でも御所浦には自転車で来れないので、「御所浦架橋（第2・第3架橋）」を早期に実現してほしい。 あわせて、乗組員の高齢化が進む共同フェリーの維持についても懸念があるため、対策をお願いしたい。	【馬場市長】 御所浦架橋については、多くの人が御所浦を訪れるという実績を示す努力が必要であり、そのために観光客誘致に力を入れている。 サイクルルートについては、西海岸をメインに進めていくが、東海岸側も素晴らしいルートであるため周遊してもらえるような取り組みをやっていく。御所浦についても、船に自転車を載せることは可能なため、訪れる人を増やしていきたい。自転車の「聖地」化を目指すことで、橋の必要性を訴える力にしたい。 【経過】 架橋事業の再開に向けた要望活動を継続する。共同フェリーと協議の場を設け、船員の現状などの実態を把握し、熊本県と連携して対策を検討する。
2	フェリー等の横浦～御所浦間など島内移動無償化による利便性向上に感謝している。子ども達も非常に喜んでおり、高齢者も助かっている。 一方、フェリーがドック入り（検査）の際、通院などに支障が出るため、1日1便でも良いので、代替りの船（チャーターフェリー等）を出してほしい。	【馬場市長】 島内移動無償化により多くの方にご利用いただいていること、また満足していただいていることは大変ありがたいことであり、熊本県にも感謝したい。 フェリー運休時の対応については、法的・技術的な課題を整理しながら、1日1便でも運航を確保できるよう具体的な検討を進める 【追加回答】 フェリーの定期ドックが延長された際、チャーターフェリーを活用した臨時便の運航について、熊本県と連携して検討を進める。
3	避難所の地域運営は、進めてほしい。危険個所などは地域住民が一番分かっており、行政だけでは限界があるため、共助の取り組みが必要である。	【馬場市長】 御所浦には避難所が5カ所ある。ぜひ地域の皆様で運営をお願いしたい。 【経過】 現在、御所浦地域では御所浦北地区コミュニティセンターで地域運営が行われているが、今後の拡大については施設特性に応じた検討が必要になる。診療所は診療機能維持等の観点から住民運営は困難と考えている。残る3カ所（御所浦支所、御所浦交流センター、勇志国際高等学校）への導入可能性について、今後、関係部署と検討する。
4	フェリー等での島内移動の無償化により移動の利便性は良くなったが、島内移動の海上タクシーの利用者が少なくなった。現在海上タクシーは10隻運航しているが、さらに減少することが見込まれるため、早急な対策が必要。 また、橋の完成には数十年かかる可能性があるため、より現実的で観光PRにもなる車を数台載せれる「ロープウェイ」（車両積載可能）を架ける案はどうか。	【馬場市長】 海上タクシーは島に不可欠な存在であり、後継者育成や維持に向けた支援を真剣に考える。 ロープウェイの案は新しい視点であり、今後研究してみたい。 【御所浦支所長】 海上タクシーも含めフェリーの対策についても要望をいただいている。県とも連携し、法的規制をクリアしながら支援策を検討していく。海上タクシーはどのような支援策が良いのか、早期に話し合いの場を設け進めていきたい。 【経過】 海上タクシーは公共交通を補完する役割を担っていることから、現行の安全対策等の補助に加え、県と連携して新たな支援策を検討する。
5	横浦島の地域内を循環する交通体系を検討してほしい。	【馬場市長】 地域内の移動の課題として受け止め、どのような対応が可能か検討したい。 【経過】 御所浦地域には、令和10年度にAIオンデマンド乗合タクシー等のコミュニティ交通の導入を予定している。令和9年度に関係者会議を発足し、住民アンケートにより移動実態を把握し、運行計画を策定する。
6	御所浦小学校の3・4年生が複式学級になったが、御所浦だけ加配の先生が見つからなかったと聞いた。現場の先生が困っているのではないか。解消できないか。	【平田教育長】 複式解消のため市単独で職員の配置をしている。人材不足により配置が困難だったが、県教育委員会とも連携しながら、年度途中でも配置できるよう探している。 【経過】 2学期から市費負担教職員を1名追加配置できる見込みとなった。

■市民ふれあい座談会での意見要望一覧（令和8年7月8日、御所浦地区）

No.	ご意見など	回答
7	複式学級の意見について、自分も在学時、複式学級だったが貴重な経験だと感じている。先生方が大変なのは分かるが、もっとポジティブに捉え、少人数学級の良さを活かして子どもたちに貴重な経験をさせてほしい。	【平田教育長】 少人数や複式学級でも、子どもたちが自ら学ぶ力をつける教育に力を入れている。御所浦は小規模校ではあるが、地域住民の皆さまの協力が広く得られており、御所浦での学びは非常に充実していると感じている。
8	以前、市長が語っていた「大学をつくる」という構想の進捗を聞かせてほしい。	【馬場市長】 国の方針や少子化の影響で新設は困難になったため、方針を転換した。新たに大学をつくるのではなく、オンライン授業の活用や既存の大学との連携を強め、学生たちが集まる拠点を作る、さらに子どもたちが帰ってきたい場所を作ること で若者の移住・定住につなげたい。